

# 北に育つ

北海道稚内養護学校  
学校便り  
平成30年2月16日発行  
第7号  
発行者 首藤 啓美子



## 「宗谷を愛する」

北海道稚内養護学校 教頭 高木 美穂

立春が過ぎ、暦の上では「春」ですが、宗谷岬に流氷が訪れたというニュースを聞くと宗谷に暮らす私たちにとっては、これからが寒さのピークといったところでしょうか。

さて、皆さんは、「宗谷ひと図鑑」をご存知でしょうか。新聞等でも紹介されていたので既にご覧になった方も多いと思います。「宗谷ひと図鑑」は、宗谷総合振興局の移住定住推進事情の一環で、宗谷管内の高校生が、宗谷で活躍する様々な職業人を取材し、地域の魅力や仕事のやりがいなどを手書きで冊子にまとめたものです。離島編、南宗谷編に続いて、先ごろ、完結編が発行されました。「宗谷ひと図鑑」の魅力は、高校生が宗谷に暮らす様々な職業人と直接ふれあい、インタビューを通して仕事のやりがいや地域の魅力に自ら気づいたことを高校生らしいみずみずしい感性でまとめているところだと思います。どのページも、宗谷に暮らす職業人の仕事に対する熱い想いと地元愛にあふれています。

また、作成に携わった高校生にとっては、作成の過程で、インタビュー、写真撮影、原稿作成等、自ら体験し、体験を通して学校教育と社会のつながりに気がつくことができたことと思います。それは、「キャリア教育」の視点からも非常に価値のあることだと考えます。

「宗谷ひと図鑑」は、職業に対するやりがいやほこり、また、私たちの、ふるさとへの想いやふるさとを愛する気持ちが、これからの地域を支えていく上で大切だということを教えてくれる一冊です。同振興局のホームページでも公開されていますので、ぜひ、一度ご覧ください。おススメです。



宗谷総合振興局 HP アドレス  
[www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/](http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/)



## 3月の行事予定

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1日 個別懇談（卒）～8日  | 9日 卒業式、卒業を祝う会 |
| 2日 保護者懇談会（舎）   | 21日 春分の日      |
| 5日 個別懇談（在）～16日 | 23日 修了式       |
| 7日 卒業式総練習      | 24日 学年末休業日    |



# 給食室より



行事食とは、季節折々の伝統行事などの際にいただく料理、特別な行事の時の華やいだ食事のことをいいます。それぞれ旬の食材を取り入れたものが多く、季節の風物詩の一つにもなっています。給食で行事食を食べることによって、行事の意味や四季を知る機会になればと、2月2日は一日早いですが節分の行事食、手巻き寿司、大豆の炒り煮、けんちん汁を給食に出しました。

給食が始まる前に担任の先生から、節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」と願ったり、悪いものを追い出す日ということ話をもらいました。また、本来、恵方巻は節分の夜に食べるものであること、その年の恵方に向けて、願い事を思いながら一言も話さずに食べると願い事が叶うと言われていることを聞いてから食べました。児童生徒は、配膳された各自のお皿から具を選んで手巻き寿司を作ります。子どもたちは海苔から具がはみ出ないように、のせる量や具の組み合わせを考えながら上手に巻いていました。子どもたちだけではなく、先生方も色々な具の組み合わせを楽しんでいる様子も見られました。子どもたちから「来年の節分も手巻き寿司が食べたい！」という声もでていました。

みんなの願いごとが叶い、健康で幸せに過ごしてくれたらと思います。

(文責：栄養教諭 中川ともみ)

# 寄宿舎より



今年度は、男子棟14名・女子棟6名、合計20名の舎生が元気いっぱい笑顔いっぱいの寄宿舎生活を送っています。この冬は一段と寒さが厳しく、さらに積雪も多い冬となりました。インフルエンザなどの流行性疾患も稚内市内では猛威を振るっているとのこと。そのような中でも寄宿舎生は、「手洗い・うがい」を日頃から徹底して行い、一人ひとりが予防する意識を持って寄宿舎生活を過ごしています。

今年度を振り返ってみますと、たくさんの寄宿舎行事や活動がありました。前期には、保護者の皆様や地域の方々をご招待して、はまなす寮祭を催しました。後期には、稚内北斗ライオンズクラブの方々との交流会がありました。これらの活動を行う前には、ご招待した方々を喜んでもらうためにはどうしたらいいか、招待された自分たちがどのようなお礼ができるのか？など、寄宿舎生間・寄宿舎生と指導員間で目的やねらいを共有しながら、企画することができました。私たち指導員は行事や活動を企画するうえで、寄宿舎生が「自ら進んで行事や活動に参加する姿勢」を大切にしています。先日は、節分会が行われました。節分が行われるようになった背景や、行うことの意義を「知る」、そして「体験する」という、寄宿舎生が「実感」を伴って参加できる行事や活動を企画しています。節分会以外にも、四季に応じた行事や活動なども盛りだくさんに行っています。

来月には、今年度最後の行事『お別れ会』があります。在舎生みんなで力を合わせて、卒業生を盛大にお祝いしたいと思います。残りわずかとなった寄宿舎生活の中で、これまでに寄宿舎で培ってきたことを振り返りながら、卒業生・在舎生ともに新たな一歩を踏み出していけることを期待しています。

(文責：松井 直輝)

